



鶴見線ワンマン運転は



安全性の低下を会社が認めている?!

3月16日のダイヤ改正での鶴見線ワンマン運転開始にあたり、「鶴見線ワンマン運転開始に伴う車内放送の実施について」という内容で、乗務員に放送依頼が行われています。

放送内容

お客さまにご案内いたします。鶴見線は3月16日よりワンマン運転を開始いたします。電車をご利用の際はお時間に余裕を持ってご利用下さい。また、**ホームを歩く際には電車から離れてお歩きください。(また、駆け込み乗車は大変危険ですでおやめください。)** お客さまのご協力をお願いいたします。

既にワンマン運転が実施されている南部支線の八丁畷駅で昨年、白状がドアに挟まったまま走行し、あわや触車や引きずりという事象が発生しました。団体交渉の中で会社は「**ワンマンでもツーマンでもありえる。確率論。**」という驚きの回答をしています。私たち輸送サービス労組はワンマン運転による安全低下の問題を指摘してきました。

今回の放送依頼はワンマン運転を行うにあたって改めてホーム上の危険をお客さまに周知することになっていますが、**ワンマン運転がいかに安全性に問題があるのかを会社自らが認めていると言わざるを得ません。**

ワンマン運転による安全性の低下を会社が認めていることは明らかだ!

「安全」「輸送サービス」の低下を招く施策にはしっかりと声をあげていこう!